

令和8年3月12日

## 法人企業景気予測調査

(令和8年1~3月期調査)

【京都府下の調査結果】



政府統計

8年1~3月

現状判断は2期ぶりの「下降」超 (▲5.4%ポイント)

【概要】 ※ 特に断りがない場合、計数は全規模・全産業

## 1. 企業の景況 (景況判断 BSI)

- 8年1~3月の現状判断は2期ぶりの「下降」超 (▲5.4%ポイント)。
- 先行きは、「下降」超 (翌期(8年4~6月) ▲0.8%ポイント) で推移した後、「上昇」超 (翌々期(8年7~9月) +0.4%ポイント) となる見通し。

(注) 景況判断 B S I は、前四半期と比較しての「上昇」-「下降」社数構成比。

景況判断 B S I (全規模・全産業)

(ポイント)

現状判断			見通し	
7年7~9月	10~12月	8年1~3月	4~6月	7~9月
▲4.5	+1.6	▲5.4	▲0.8	+0.4

(参考) 規模別・産業別 (現状判断・8年1~3月) (ポイント)

(全産業・規模別)		(全規模・産業別)	
大企業	+6.0	製造業	▲2.1
中堅企業	▲5.5	非製造業	▲7.6
中小企業	▲11.8		

## 2. 雇用 (従業員数判断 BSI)

- 現状判断 (8年3月末) は「不足気味」超 (+30.3%ポイント)。
- 先行きは、「不足気味」超 (8年6月末+26.1%ポイント、8年9月末+24.4%ポイント) で推移する見通し。

(注) 従業員数判断 B S I は、四半期末の「不足気味」-「過剰気味」社数構成比。

## 3. 売上高・経常利益 (除く電気・ガス・水道、金融・保険)

- 売上高は、7年度通期では前年度比+2.4%の増収見込み。
- 経常利益は、7年度通期では前年度比+22.6%の増益見込み。

## 4. 設備投資 (除く土地、含むソフトウェア)

- 設備投資は、7年度通期では前年度比+35.4%の増加見込み。
- 製造業は同+45.0%、非製造業は同+18.0%の増加見込み。

(注) 調査対象は296社。回答率は81.4%。

【お問い合わせ先】

財務省近畿財務局京都財務事務所 財務課  
電話：075-752-1418

## 景況感等に関する企業の声（ヒアリング結果）

### 【製造業】

#### （現状）

- 半導体製造工程向けのテープ需要が回復基調にある。（情報通信機械、大企業）
- AI・データセンターの需要が拡大していることから、メモリー向けを中心に中国、台湾、その他アジア地域での受注が好調である。（生産用機械、大企業）
- 和菓子は嗜好品であることから、物価高の長期化に伴って買い控えの動きがみられている。また、インバウンド向けでは、中国人観光客が減少している影響を受けて、売上がやや減少している。（食料品、中小企業）
- 原紙の仕入価格が上昇傾向にあることから、価格転嫁を実施した結果、他社の安価製品との競争が激化し、販売数量が減少している。（パルプ・紙、中堅企業）

#### （先行き）

- 取引先の新規開拓に力を入れており、翌期以降、新規取引先での販売を予定していることから、売上の増加を見込んでいる。（食料品、中小企業）
- 人件費の上昇や生産ラインの増強に伴うコスト増を見込むほか、翌期以降の仕入価格動向が不透明であるなど、コスト面の不安要素を抱えている。（電気機械、大企業）

#### （雇用関連）

- 製造現場の管理部門を中心に全体的に人手が不足している。ハローワークへの登録や専門学校への宣伝イベントに参加するなど、新たな試みに取り組んでいるほか、ここ数年、ベトナムや韓国などの外国人採用も増加している。（情報通信機械、大企業）
- 営業や事務部門は充足しているが、製造現場において不足状態が続いている。民間求人サイトは費用に対するメリットが少ないため、ハローワークでの募集や京都ジョブパークでの人材紹介といった公的機関を用いた採用活動を行っている。（パルプ・紙、中小企業）

## 【非製造業】

### (現状)

- 飲食店において人手不足感が高まっていることから、省人化に向けた当社システムの需要が拡大している。(情報通信、中堅企業)
- 1月以降は訪日自粛要請の影響が大きく、ホテルによって差はあるものの、前年同期比で中国人客の予約件数が2~5割減となっている。(宿泊・飲食サービス、中堅企業)
- 元々、中国人団体客・個人客ともに利用が少ないことから、渡航自粛要請の直接的な影響は受けていないものの、周辺ホテル等が中国人客減少の影響を受けて値下げを実施している影響からか、日本人客および欧米客がそちらに流れている印象を受ける。(宿泊・飲食サービス、中小企業)
- 祭事等の減少に伴い着物の需要が低迷している中、仕入価格や加工費用などのコスト増に加え、借入金利の上昇により利息負担が増えたことから、収益が悪化している。(卸売、中小企業)

### (先行き)

- ポップアップストア需要が拡大していることから、物品のリース契約が好調となる見込み。(物品賃貸、中小企業)
- 仕入価格の高騰や人件費の上昇により、収益が圧迫される状況が続く見込み。(卸売、中堅企業)

### (雇用関連)

- 建設業の成り手が少ない中、地元を離れる若者が多く、新卒採用は困難である。民間求人サイトはコスト面の負担が大きいうえに、地方では登録している求職者が少ないため、現在はハローワークのみを利用している。(建設、中小企業)
- 長時間労働や深夜労働の印象により、ドライバーへの成り手が少ないことから、若年層を中心とした不足感が強いいため、現場作業の機械化などの省人化・DX化に力を入れている。(運輸・郵便、大企業)